

# 福祉イベント情報

福祉ふれあいフェスティバルは、感染症拡大防止のため、例年のイベント内容を変更し、下記のとおり開催します。

問い合わせ ふれあい福祉課 ☎24・8052

## 第41回 ふれ愛ふくしアート展

福祉事業所から募集したアート作品を多数展示しています。ぜひ、お気軽にお立ち寄りください。

とき 9月13日(月)～17日(金)

ところ 市役所エントランスホール



## オンライン福祉講演会

### 全盲ママが伝える 繋がる子育ての魅力

障がいの有無に関わらず、互いに尊重し合う共生社会を目指し、日常生活やコミュニケーションなどで生じる様々なバリアから自分らしい生き方を見つけるための大切なことなどについて、講師の実体験からお話いただけます。



とき 10月3日(日) 13時30分～15時

ところ Zoom 講演 ※Zoom 使用環境がない人などは、こまつドーム集会室でご覧いただけます。

講師 西田 梓 (Mothers' Cafe主宰) ※東京からリモート

ファシリテーター 山田 貴代 (公立小松大学講師)

申し込み 9月21日(火)までに、名前、住所、連絡先、参加方法(Zoomまたは会場)をふれあい福祉課 ☎24・8052 FAX23・0294  
✉ fukushika@city.komatsu.lg.jp

その他 手話・要約筆記あり(会場のみ)。申し込み多数の場合は調整させていただく場合があります。詳しくは市ホームページから▶



## 国際交流コーナー International City KOMATSU



## スポーツは 夜にするもの!?

国際交流員  
フィミンの  
こまつ新発見



「シンガポールのスポーツって何?」と聞かれても、はっきりとした答えが思いつきません。人気のスポーツというと、卓球やバドミントン、サッカーが挙げられますが、日本とそれほど変わらないと思います。

しかし、強いて言えば、シンガポール人は運動を夜にする習慣があります。夜中に学生同士で自転車に乗ってシンガポールの端から端まで走る「ナイトサイクリング」は、大学時代の毎年の恒例行事でした。シンガポールは24時間どこでも電気がついていて、いつでもどこでもきっと美味しい食べ物を見つけられるし、年中蒸し暑い国でも夜なら暑さを避けられるので、最高です。余談ですが、日本に来てひとつ慣れなかったのは、夜の暗さです。公園なら電気がついていては当たり前だと思いきや、真っ暗でした。

もちろん、夜中のマラソンもあります。また、シンガポールにはフォーミュラ1(F1)のコースもあり、そこではF1史上初のナイトレースが開催されました。

スポーツを見るのが好きな人も多くいますが、それも夜に限定される活動です。特に、私の父を含めて、サッカーファン



▲ナイトサイクリングで楽しめる風景



▲ナイトサイクリングを共有した仲間

が圧倒的に多いですが、日頃寝る時間を厳しく守っている父も、応援しているチームの試合に限って平気で徹夜をします。そして私も、たとえ試験期間と被っても、家族でのワールドカップの徹夜観賞会は大歓迎でした。

問い合わせ 観光文化課 ☎24・8039